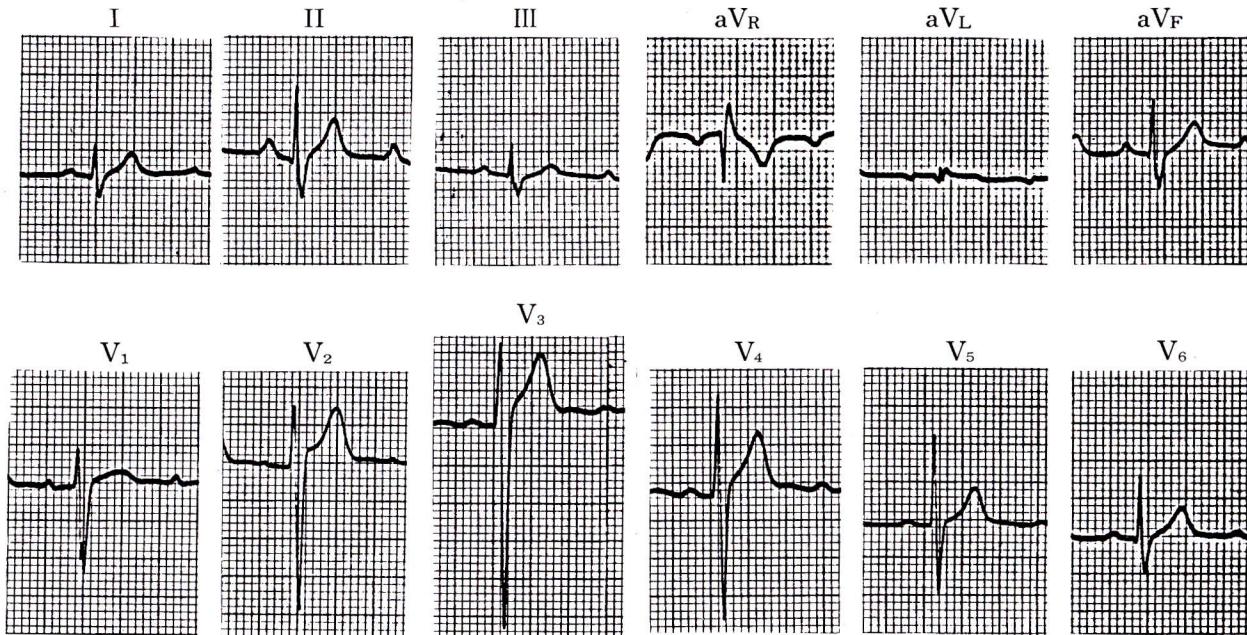


# 症例 7

●25歳 男

- 労作時の動悸を訴えて来院。



- 1) 前額面電気軸はどうか。
- 2) 移行帶はどこか。

## 正常(Sパタン心電図)

肢誘導すべてにR波と同じ程度の振幅をもつS波がみられ、前額面電気軸を決めることができない。この症例のように、I, II, IIIのいずれにも深いS波を見るものをS<sub>1</sub>S<sub>2</sub>S<sub>3</sub>症候群、またはSパタン心電図という。V<sub>5,6</sub>に深いS波が残っており、移行帶はV<sub>5</sub>付近でやや時計方向の回

転がある。aVL, V<sub>1</sub>をはじめとして、QRS波に結節～スラーが認められる。何らかの心室内伝導異常の存在が考えられるが、脚ブロックの診断基準も満足せず、QRS幅も広くないので、見過ごしてよい所見である。

### MEMO

#### 〈Sパタン心電図〉

28

Sパタン心電図は、臨床的には右室後基部が肥大する肺気腫、肺線維症などの慢性肺疾患を有する患者にみられることがあるが、特別な基礎疾患を有しない場合も多い。